

動 檢 時 報



Vol.54-4 2021.08



○ What's New !

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあわせて、羽田空港に国際線ビジネスジェット専用ゲートが完成しました。
詳細は3ページをご覧ください。

◆◆◆◆◆ 動検時報 第4号 目次 ◆◆◆◆◆

◎トピックス

・羽田空港新国際線ビジネスジェット専用ゲートの供用開始について（羽田空港支所）	3
・旭川空港なんちゃってトラベル ハワイ編（北海道・東北支所）	3
・動物検疫所における新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の取組について (総務部庶務課)	5

◎動物検疫関連情報

・令和2年度動物検疫所業績発表会の概要（精密検査部危険度分析課）	5
・係留施設紹介～新門司検疫場～（門司支所検疫第2課）	6
・YouTube を利用した広報活動「クンくんのうた～お仕事紹介～」&「Stay with me～君と共に～」 (企画管理部企画調整課)	8
・新規導入検疫探知犬紹介（莓号）（関西空港支所）	9

◎所内情報

・官犬・ラスティー号について（沖縄支所）	10
・男性の育児奮闘記（川崎出張所）	10
・コロナ禍での台湾及び帰国後の隔離検疫生活について（羽田空港支所東京出張所）	11
・お詫びと訂正（動検時報 Vol.54-3 2021.06 号の訂正）	12
・令和3年度初任者紹介～私は・・・な防疫官になりたい（令和3年度初任者）	13

◎令和3年6月～7月の出来事	15
----------------	----

◎人事異動（令和3年4月2日～8月1日）（総務部庶務課）	16
------------------------------	----

◎畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和3年5月～令和3年6月）	
----------------------------------	--

（企画管理部調査課）	17
------------	----

◎動検通信（総務部会計課長）	20
----------------	----

◎トピックス

・羽田空港新国際線ビジネスジェット専用ゲートの供用開始について

(羽田空港支所)

「明日の日本を支える観光ビジョン」(明日の日本を支える観光ビジョン構想会議(平成28年3月30日策定))において、ビジネスジェット(企業・団体又は個人が商用目的で利用する航空運送)の受入環境の改善を推進しています。

東京国際空港ターミナル株式会社(TIAT)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けたビジネスジェットの需要拡大に対応するため、羽田空港に「東京国際空港国際線ビジネスジェット専用ゲート:Tokyo International Airport Business Aviation Gate(以下「BJ専用ゲート施設」という。)」を建設、令和3年7月15日に供用を開始しました。

BJ専用ゲート施設は、羽田空港第3ターミナルビル北サテライトの西側に位置し、その規模は、延床面積約1,500平方メートル(テニスコート(ダブルス)約6面分に相当)です。運用時間は、24時間で、出発・到着の分離動線、専用保安検査場、出発・到着各専用のCIQ施設、専用待合室、専用車寄せ、専用一時駐車スペース等が備わっております。

動物検疫に関しては、BJ専用ゲート施設利用者が所持する肉製品等の検査カウンター、犬猫等の輸出入検査が可能な事務室のほか、靴底消毒マット設置場所が整備されており、的確かつ円滑な輸出手続を行うことが可能です。



従来ビジネスジェットは、主として①利用者

のスケジュールに応じた時間設定(時間価値の最大化)、②定期便がない場所への移動(移動の柔軟性・快適性)、③機内での会議・商談(秘匿性)等の目的に利用されてきました。これらに加え、コロナ禍では、定期便減便の影響や感染防止を目的とした利用や問合わせも増加しているとの報道を目にしたところです。

これを機に、さらなる利便性向上や価格競争が図られることで、従来「富裕層のみが利用するもの」という側面が大きかったビジネスジェットが、「自由に航路をカスタマイズできる」、「時間的価値を創出できる」等、新時代に応じた新たな価値を武器に、より身近な存在となり、利用者が増加することが考えられます。

当所としましても、我が国への家畜の悪性伝染病の侵入防止のため、時代の要請に柔軟に対応し、引き続き水際対策を的確に実施してまいります。

ちなみに、同施設の利用料は、到着又は出発1回の利用につき30万円(税抜)のことですので、一度、利用してみてはいかがでしょうか。

・旭川空港なんちゃってトラベル ハワイ編

(北海道・東北支所)

時折雪のちらつく令和3年4月25日に、旭川空港発ホノルル行きのAKJエアラインズNN425便が一日限定で就航しました。航空関係に詳しい方は、聞き慣れない航空会社名に疑問を抱いたかもしれません。お察しの通りAKJエアラインズは、旭川空港ビル(株)が設定した架空の航空会社です。旭川空港にいながらハワイを体感するイベントのためだけに就航したNN425便は、午前と午後の計2便が運航され、合わせて82名が「AKJなんちゃってトラベラーズ」のツアーに参加しました。

ツアーは運休中の国際線ターミナルビル施設を貸し切り、CIQを含む旭川空港関係者、エアライン(JAL、ANA)等の全面協力のもと、実際に海外旅行の手続一連を体験できるものでした。参加者は、鮮やかなムームーに身を包んだ

ツアーコンダクター（旭川空港ビル職員）に導かれ、チェックインカウンターでの搭乗受付、保安検査場での手荷物検査・ボディチェック、入管による出国手続（空ビルが当イベントのためだけに作成したスペシャルパスポートに係官からスタンプをもらっていました。）、搭乗ゲートでの本人確認を経て、機内（に見立てた待合室）に「搭乗」しました。



出発時刻になると、飛行機のエンジン音と出発アナウンスが機内に流れ NN425 便は、旭川空港を離陸しました。参加者には機内食「ロコモコ丼とパンケーキ」が振る舞われ、各々が舌鼓を打っていると、飛行時間約 30 分であつという間にリモートで結ばれたハワイに着陸。到着後はスクリーンに映し出される景色や現地ガイドによるトークにツアーは大盛り上がりでした。午後に出発したツアーでは、現地の美しいサンセットが映し出され、参加者は綺麗な夕日に見入っていました。帰りの飛行時間は往路よりも短い約 10 分、機内では税関による「携帯品申告書書き方講座」が行われている間に NN425 便は旭川空港に着陸しました。降機した参加者は検疫所カウンターで検疫検査（サーモグラフィによる体温チェック）、入管による帰国手続き（スペシャルパスポートに係官がスタンプを押印）を経て、税関検査場の動植物検査カウンターへと進んできました。

植物防疫所からの説明が終わり、ようやく私たち動物検疫所の出番です。動物検疫についてポスター やパネル、食品サンプルを用いて肉製品の持ち込み規制等の説明を行いました。参加者からは「動物検疫制度を初めて知った。」、「ハワイからビーフジャーキーを持って帰れない、なんて知らなかった。」と驚きの声を聞き、動物

検疫に興味をもってもらうとともに理解を深めてもらう大変良い機会になったと感じました。また、検査カウンター内に、クンくんの着ぐるみを展示したところ、説明後に多くの家族連れが記念写真を撮影していて、大変好評でした。



動物検疫の説明後は本ツアーの見所でもある税関による麻薬探知犬のデモンストレーション。並べられた複数の箱の中から麻薬探知犬がターゲットを見つけ出すと、場内は大きな拍手に包まれました。デモンストレーションが終わると参加者は、「携帯品・別送品申告書」を提出し税関検査を無事通過、到着ロビーでは本ツアーの記念品が入ったお土産（動物検疫所は、広報用ポケットティッシュ&パンフレットを用意）を受け取りツアーの終了、解散となりました。

コロナ禍で国内外の旅行が制限されている中、リモートで海外旅行を味わえる体験に参加出来た82名の方々はとても楽しんでいた様子でした。国際線が長期に渡り運休している中、CIQを含む旭川空港関係者、エアライン（JAL、ANA）の職員も、疑似体験とは言うものの本ツアーへのやる気が漲っていました。最後に、本

イベントは定員（80名）を大きく上回る応募があったため、第2弾も企画中とのこと。次回はどこの国へ行けるのでしょうか。動物検疫所も参加します！

・動物検疫所における新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の取組について

（総務部庶務課）

東京オリンピックは8月8日に終了し、東京パラリンピックが8月24日から9月5日までの期間で開催されます。こうした中、動物検疫所成田支所及び羽田空港支所において、アフリカ豚熱ウイルス等の家畜伝染病の侵入を防ぐため厳格な防疫体制を整備しつつ、各支所の応援を受け実施しているところです。

一方で新型コロナウイルス感染症は、急激に増加しており、本年9月12日までとして、緊急事態宣言を東京都など21都道府県に、また、まん延防止重点措置を12県に拡大し発令されました。

新型コロナウイルス感染症による重症化、感染後の後遺症等が報告されていますが、動物検疫所職員は、手洗い、手指消毒やマスクの着用など基本的な感染防止対策を徹底し、テレワークなどの出勤回避の取組を講じるなど、全ての職員の意識の高さも相まって数多くの感染が報じられる中、本年8月25日現在、3名の感染者に止まっているところです。

ワクチン接種については、副反応はあるものの感染リスクが抑えられることや感染しても重症化しないメリットが期待されます。職員の希望が最優先されますが、動物検疫所では1人でも多くの職員が早期に接種できるよう呼びかけており、職域接種においては、本年、6月中旬から成田支所・羽田空港支所職員の接種が行われ、本年8月25日現在での1回目のワクチン接種率は、成田支所で92.8%、羽田空港支所で87.3%となっており、神戸支所で70.0%、中部空港支所で69.8%、沖縄支所で88.9%と職域接種や地域接種が進められ、動物検疫所全体では533名中306名に当たる57.4%の職員が第1回目の接種を行っているところです。2回目の接種も順調に実施されています。

本所を含むその他の支所の状況についてですが、職域接種を予定している各ブロック会場についても、接種希望者の特定などの検討が進められているところです。一時ワクチン不足により職域接種、地域接種とも足止めをされる形となっていましたが、8月下旬から再開される動きとなっております。

家畜防疫官については、水際の最前線で旅客と接する機会も多いことから、職員の健康確保と職場における安全性の向上のため、一人でも多くの職員がワクチン接種を受けられるよう取り組んでいるところです。

接種券のない方については、職域接種を、接種券が市区町村から交付された方は、地域接種・大型接種会場でワクチン接種を受けていただければと思っています。

当方も接種券が届き、平日に2回目の接種を終えております。接種部分の腕が多少腫れ、その後、頭痛と微熱が出ましたが接種後2日で解消しました。接種をしても感染する可能性があることから、引き続き基本的な感染防止対策に努め、マスクと気持ちを緩めないよう心がけていきたいと思います。

◎動物検疫関連情報

・令和2年度動物検疫所業績発表会の概要

（精密検査部危険度分析課）

動物検疫所業績発表会は、日頃の業務及び調査研究の結果を発表し、課題と対策について討議を行うことで、検疫業務の改善・向上に役立てる目的として、毎年開催しています。本発表会は、第一部と第二部に分かれており、第一部は検査業務の現状と改善事例を、第二部は検査診断事例及び技術改善のための調査研究報告を報告します。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、集合形式ではなく、オンデマンド形式での開催を試みました。発表者から提出された動画は、本格的なビデオ機器等を使用して撮影・編集されたものも

あり、動画を見た職員からは「見やすくて、わかりやすい！」と非常に好評でした。また、オンデマンド形式での開催については、自由な時間に何度も発表を視聴できることから非常に好評でした。

1 審査員

本年度の第一部では、動物検疫所長を含め所内から成田及び羽田空港支所長、企画管理部長、検疫部長、精密検査部長の6名が、第二部では、所内審査委員に加え、農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門（以下「動衛研」という。）から細菌・寄生虫研究領域腸管病原菌ユニット 楠本正博ユニット長及び越境性感染症感染領域アフリカ豚熱ユニット 舛甚賢太郎上級研究員、また、動物医薬品検査所から嶋崎智章検査第一部長による、9名で審査が行われました。審査期間（発表者との質疑応答を含む。）は約3週間として審査員からメールで審査表を提出していただき、審査を行いました。

2 審査結果

審査の結果、「優秀演題」、「全国家畜保健衛生業績発表会特別演題」及び「外部発表推薦演題」が選出されました。優秀演題には、「探知犬能力の多角的評価と考察（3演題）」（第一部：成田支所旅具検疫第2課）、「対香港向け鶏卵等の輸出検査の合理化（広島モデル）について」（第一部：神戸支所広島空港出張所）、「牛の住血原虫のリアルタイムPCR法による遺伝子検査体制整備」（第二部：門司支所検疫第2課）及び「Multiplex real-time PCR法による迅速畜種鑑別の検討について」（第二部：精密検査部病理・理化学検査課）がそれぞれ選出されました。令和3年度の全国家畜保健衛生業績発表会の特別演題には、「マルチプレックスPCRによる食肉の畜種鑑別の検討」（第一部：成田支所動物検疫第2課）、「Multiplex real-time PCR法による迅速畜種鑑別の検討について」（第二部：精密検査部病理・理化学検査課）及び「BVDV遺伝子の分子系統樹解析及びPI疑い牛におけるin situ hybridization法によるウイルス遺伝子の検出」（第二部：門司支所検疫第2課）が選出されました。

た。また、多くの演題が外部発表推薦演題として選出されました。

3 最後に

本年度の動物検疫所業績発表会は、分析を行った上で、考察・結論を述べている発表が多くあり、審査員より非常に高い評価を得ていました。動物検疫所は、リスクアナリシスに基づく水際対応を進めており、引き続き、エビデンスに基づく政策立案（Evidence-based Policy Making）を推進していきます。

・係留施設紹介～新門司検疫場～

（門司支所検疫第2課）

肥育用素牛1ロット約1,500頭の収容能力がある門司支所新門司検疫場は、新門司港の造成地に平成17年2月に開設されました。開設当時は、周辺は関西方面行きのフェリー乗り場のほかは各種事業所はまばらでしたが、今では多くの物流運送会社や自動車関連会社等が進出している状況となっています。

少し歴史を紹介しますと、新門司検疫場の前身は福岡市西戸崎にあった門司支所博多出張所の係留施設でした。ロケーションとしては最高！博多湾が一望できる場所にありました。場所が良すぎたことから近くに住宅やマンションが建ち始め、移転を検討していたところタイミング良く北九州市の「マリナクロス新門司」計画に合致し、新門司港への移転が決まりました。

西戸崎の係留施設は斬新な「2階建て畜舎」でしたが、新門司検疫場は平屋建ての5棟からスタートし、平成20年に汎用畜舎として6号畜舎が建設され今に至っています。畜舎は当時の最新の業界知見をふんだんに盛り込み設計され、飼槽の高さは素牛専用の高さであり、畜舎の屋根は熱気がこもりにくい体育馆式の高い屋根、畜舎中央の天窓は気象状況により自動開閉機能を有するなど、係留動物の快適性に配慮し建設されました。また、係留動物の飼養管理を担う動物飼養管理者（親しみを込め「管理人」と呼んでいます。）の快適生活も考慮され、食堂や大

浴場などの整備、プライバシーに配慮した休憩室や宿泊室数の確保などが図られました（現在は施設の劣化や故障も目立ち始めています）。

新門司検疫場の検査室を紹介します。係留動物のロット規模に応じた十分な広さと機能を考慮した設計となっており、両手に検体を持った者が通る扉は自動扉となっているほか、検査目的によって各検査室が設計され、特に遺伝子検査ではコンタミネーションが起きないよう検査工程ごとに厳格に検査室を分け、同様に工程ごとに異なる職員が分担して実施しています。

また、新門司検疫場は「係留施設の再編・整備基本計画」における西日本グループの「中核検査施設」として位置付けられ、各所からの検査依頼に対応しつつ、県からの受託検査の実績もあります。

調査研究課題にも積極的に挑戦し、成果をまとめ業績発表会の場で紹介し、評価が得られた見見は専門誌への投稿や学会発表にもチャレンジしています。

さらに、動物検疫所として検査の信頼性確保を図るため、新門司検疫場においても試験所認定制度の国際規格である ISO/IEC17025 の認定を取得し、検査結果の品質を保っています。

動物の入検後、最初になすべき仕事は「採血」です。豪州から輸入される素牛はおそらく日本ほど人の管理が行き届いていないと思われ、「暴れん坊」がチラホラいます。そこで新門司検疫場の採血方法は一風変わっています。人でも健康診断で採血される時、シリコン駆血帯で腕の血管を浮き上がらせるように、牛の採血でも独特な方法により血管を浮き上がらせます。この採血方法は「より早く、かつ安全に」採血するために、おそらく西戸崎時代から諸先輩方の工夫と改良が連綿と受け継がれた方法であり、忘れてはならないのが牛を保定する管理人との共同作業であるということです。管理人との呼吸を合わせることで、より早く、また動物にとっても人にとっても安全に採血が完了できます。いや管理人の保定が甘いだとか引っ張りが弱いだとか言っているうちは人間ができていない証拠と自戒を込め、今日も採血に汗を流しています。

検査業務については、検査法の進歩や病態の

捉え方の解釈により、以前は「過去の感染歴を証明する抗体検査」がメインでしたが、現在は「遺伝子検査による抗原検査」が主体となりつつあります。新門司での検査業務は多頭数が相手ですので、効率化を追求しつつ高い集中力が求められます。集中力といえば「アナログ的集中力」も重要であり、1,500 頭の血液塗抹鏡検は、ある種、修行にも通じる集中力が要求されます。顕微鏡を覗いたまま長時間微動だにしない職員は「お地蔵さん」のようであり、驚異的な集中力です。

生きた動物が相手ですので、獣医師の職員が多いとはいえ、畜産職の職員も活躍しています。朝のミーティングでは臨床報告に続き対応等について活発にディスカッションしており、採血以外の検疫業務は、分け隔てなく行っています。毎日午前午後計2回の臨床観察で、ある時臨床観察を実施した畜産職職員から「@号畜舎のZ輸入者の牛群は何か違う・・」という鋭い所見を発端に病性鑑定を進めた結果、牛ウイルス性下痢（BVD）のPI（持続性感染）牛が潜んでいた、という事例もありました（この摘発を受け、素牛についても豪州側でBVDの抗原検査が実施されることとなりました）。

新門司検疫場は動物の輸入検疫業務のほかにもう一つ重要な任務を担っています。防疫資材の備蓄です。主な防疫資材は、防護服や長靴、N95マスクなど身につける資材、豚熱発生の際必須となる電殺機、鳥インフルエンザ発生時に出動する移動式焼却炉や泡殺鳥システムなどの大型防疫資材のほか、鳥インフルエンザワクチンも備蓄しています。大きなトピックスとして、令和元年度補正予算により移動式レンダリング装置を配備し、また、新たな埋却方法として「盛土用法面保護資材」（通称「ジオセル」）も備蓄しました。

特に西日本の大規模農場で疾病発生があった際は、危機管理課からの指示により防疫資材を搬出しています。指示を受けてからは時間との勝負ですので、トラックの手配と同時に職員総出で防疫資材の搬出準備に取り掛かります。搬出までの手際の良さは日頃からの防疫資材の整理整頓に努めていることで発揮されています。

防疫資材の緊急発送と同様、職員の緊急派遣にもしっかりと対応しています。派遣要請があった際は、動物の入検中であっても採血などの繁忙期を除けばほぼ全員が派遣メンバーにエントリーしています。派遣者が決まった後は残りの職員でカバーし、信頼のある検査結果を導いています。

以上が新門司検疫場の紹介になりますが、当課が担当する係留施設はもう1か所「太刀浦検疫場」があります。太刀浦検疫場についてもいろいろと紹介したいのですが、それはまた別の機会にしたいと思います。



新門司検疫場（肥育用素牛専用畜舎）

・YouTubeを利用した広報活動
「クンくんのうた～お仕事紹介～」&「Stay with me～君と共に～」
 (企画管理部企画調整課)

動植物検疫探知犬をテーマとした広報動画2本が農林水産省YouTubeチャンネル「maffchannel（マフチャンネル）」より公開されました。



1本目は6月25日に公開となった「クンくん

のうた～お仕事紹介～」。本作の内容は、クンくんが美術館を歩きながら、動物検疫所の役割、肉製品を海外から日本に持ち込んではならない理由及び動植物検疫探知犬の存在意義について紹介するというものです。動物検疫について詳しくない方にも視聴いただけるよう、親しみやすい歌とアニメーションで構成しています。動画中のBGMは「クンくんのうた」をアコースティックサウンドにアレンジしたものです。「たとえ少しの数でもハム、ベーコン、ジャーキー、ギョウザ、からあげ、ハンバーガー全部だめ」、「みんなの理解が大きな力に変わる」等「クンくんのうた」に込められた大切なメッセージを、一音一音丁寧に歌い上げています。本作は音声なしで上映する場合であっても動物検疫制度や動植物検疫探知犬を紹介するコンテンツとして、イベント会場や空港のデジタルサイネージ等あらゆる場面において活用したいと考えています。



↑ちなみに、動画後半では探知活動中とは異なるリラックスしたアルバート号を見る事ができますよ。

2本目は7月7日公開となった「Stay with me～君と共に～」。本作は実在する動植物検疫探知犬をモデルに、飼い主を失ったビーグルが動植物検疫探知犬になるまでを描いたものです。動植物検疫探知犬に親しみと、興味を持っていただけよう、「物語」という新たな切り口の広報動画に仕上げました。

御紹介した2本の広報動画は、令和3年度こども霞ヶ関見学デー（7月16日からWeb開催）、農林水産省Webサイトにおけるデジタル展示、農林水産省本館に設置されている来庁者用モニター、地方農政局が開催している「消費者の部屋」等において掲載又は上映されています。



当所の広報は、国内外の方々に動物検疫制度について知っていただき、「海外から日本へ肉製品を持ち込まない」という行動に移してもらうことを目的としています。より効果的な広報について御意見・御提案がありましたら、是非お聞かせください。

・新規導入検疫探知犬紹介（苺号） (関西空港支所)

関西空港支所に新たな検疫探知犬、苺号が導入され、3月末にデビューしましたので苺号の紹介と、これまでの探知活動の様子をお知らせします。



苺（写真左）は1歳のメスで、小さな目と首下のつむじがチャームポイント。同じ関西空港で活躍する先輩犬セシル号（写真右）とともに関西空港での探知活動を行うことになりました。性格はというと、ハンドラーも見習いたいくらいのマイペースで、ちょっとやそっとじゃへこたれない強いハートの持ち主です。

初めての活動場所となる関西空港に来た時も、外国人のお客さんや様々な音やにおいなど、初めてのものだらけだけど大丈夫かな？とハンドラーが心配するのをよそ目に、苺は持ち前の強いハートで馴致の段階から恐れることなくお客様の荷物を嗅ぎにいくなど、検疫探知犬としての頼もしい姿を見せてくれました。

研修施設での訓練や空港での馴致を乗り越え、晴れて実践デビューを果たした苺ですが、度胸はあるものの、訓練の時よりも複雑な臭い、たくさんの荷物がある空港では、ターゲットである肉製品や果物を思うように見つけられない日々が続きました。とにかく実践経験を積むしかない！ということで、先輩犬の嗅いだ荷物をもう一度嗅がせてもらったり、旅客が受け取る前の置き荷物を嗅いだり、1つ1つの荷物を確実に嗅げるように練習を重ねました。そして、ついにその日がやってきました。4月のある日、1つのスーツケースの前で苺がおすわりをしました。荷物の検査をしたところ中から肉製品が見つかり、防疫官から日本に持込みが出来ないものであることがお客様に伝えられます。そうです。苺が探知に成功したのです。その瞬間は本当に嬉しくて、今までで一番たくさんのご褒美をあげたことを覚えています。

苺の探知犬ライフはまだまだ始まったばかりです。これからも共に様々な経験を積んで、日々成長していくけるよう頑張ります。



◎所内情報

・官犬・ラスティー号について

(沖縄支所)

家畜防疫官の同志である官犬・ラスティー号は、病気が見つかったため、任期半ばでありましたが、探知活動継続は困難と判断し、4月26日、検疫探知犬を引退しました。

その後、治療を継続しておりましたが、6月19日、永眠しました。この場をお借りして、これまでのラスティー号の水際対応における功績等をご紹介させていただきます。

ラスティー号は、平成25年3月、オーストラリアで生まれました。同僚の官犬・シーザー号と共にオーストラリアで検疫探知犬としてトレーニングを受け、平成27年3月、那覇空港に着任しました。ラスティー号の特徴は、毛色がレモンカラーという柔らかい色合いでとても優しい印象を与えます。ところが一度探知活動モードに入ると、とても意欲的で旅行者が押すカートの上など高いところにある荷物を嗅いだりするなど、探知活動に対して非常に意欲的、貪欲な検疫探知犬でした。



<4月23日、ラスティー号の引退式>

これまで、那覇空港に到着した国際旅客便、計2,515便の探知活動に従事し、815.7kgの持込みできない肉製品等を探知し水際対応に大いに貢献してくれました。那覇中央郵便局に到着する国際郵便物の探知活動にも従事しました。

また、沖縄県民への動物検疫に係る広報活動として那覇市内小学校への出前授業でシーザー号ともに探知デモを披露し、ターゲットを見事に探知し小学生からたくさんの拍手をもらうな

ど、動物検疫制度を広く沖縄県民に周知するため活躍してくれました。検疫探知犬を引退してからは、沖縄県の広報番組「うまんちゅひろば」において、県民へ飼い犬への狂犬病予防接種を呼びかける企画への写真提供の要望があり、海外から到着する犬の輸入検疫を紹介する場面に、ラスティー号の画像を提供しました。

ラスティー号は、検疫探知犬引退後も亡くなる直前まで、元気に懸命に動物検疫所のために働いてくれました。ここにあらためて、ラスティー号の冥福を心からお祈り申し上げます。



・男性の育児奮闘記

(川崎出張所)

動物検疫所では以前から男性の育児休暇取得が推奨されており、男性も1か月以上の育児休暇を取得することが望ましいとされています。

個人的な話となり恐縮ですが、今年の5月に第二子が生まれたため、妻と相談の上、2カ月間の育児休暇を取得しました。新型コロナ禍の影響で、第一子の際は可能だった出産の立合いや入院中の面会もできなかったため、私の育児休暇は妻と第二子が病院から退院してきた生後1週間から取得を開始しました。妻が退院してきてからの2か月間の育児休暇は気づいたら終わっていたと思うぐらい、あっという間に過ぎてしまいました。育児休暇中は妻の体力回復を

第一の目標に家事をこなし、家事がひと段落した後の昼間の時間帯は、大体の時間第二子を抱っこして過ごしていました。第一子の際は「赤ちゃんはこんなに寝るんだな」と思うぐらい昼も夜もよく寝てくれていましたが、第二子は抱っこされている間は機嫌よくいてくれているものの昼はあまり寝てくれず、布団に寝かせると気に入らないのかぐずつてしまっていたので、第一子の際に購入したスリングが大活躍してくれました。また、第一子が若干の赤ちゃん返りでとにかく抱っこを求めるようになり、特に就寝前にひたすらに抱っこを要求してくるため、一時は左に第一子、右に第二子を抱えて、睡眠導入のために部屋の中でひたすらに揺れるか徘徊していたのはいい思い出になりました。なお、第一子は幸いなことに、保育園を退園する必要がなかったため、平日は保育園に通い、土日は家族で過ごしていました。第一子と唯一2人きりになる保育園の送迎の時間は非常に大切で、この時間に如何に第一子を満足させられるかで帰宅後の家の明暗が分かれていきました。

あっという間に終わってしまった育児休暇ですが、育児休暇が終わったからと言って育児が終わるわけではないので、今日も定時であります。

お疲れ様でした。

・コロナ禍での台湾及び帰国後の隔離検疫生活について

(羽田空港支所東京出張所)

5月9日から台湾へ加熱処理施設の査察に行ってきました。2施設だけですので通常であれば移動日を含め、3泊4日で終了する行程ですが、新型コロナ感染症の影響により、現地で14日間の隔離検疫、帰国後も14日間の自宅待機を余儀なくされ、全てから解放されたのは出発日から約1ヶ月後の6月10日となりました。この場をお借りしまして東京出張所の皆様には長く職場を空けたこと、海外査察に御理解いただきましたことをお礼申し上げます。

このコロナ禍での査察ということで、心配事

としては現地の感染状況（この時期の台湾はコロナの封じ込めに成功している国の一つ）よりも食事と水でした。出発直前まで、隔離期間中の食事は全て個人でデリバリー注文という話が出ていたため、面倒だなとため息。個人旅行と違って海外査察の場合、滞在中の手配は全て現地の検疫当局が行うため細かいところの確認ができません。今回もあり情報がないまま出発日を迎えるました。私としては隔離期間中の滞在ホテルに何が用意されていて何を持参すれば良いのかが不明だったため、とりあえずはお腹を壊したくないという理由からペットボトルの水を大量に持参しました。同行した査察者については（現地でデリバリーという話があったためか）台湾に持ち込むことのできる食べ物をかなり持参したと聞きました。そのせいもあって出発前にも関わらず、2人ともかなりの荷物量になりました。その後、ホテルに着いてみれば、水はペットボトル1ケース分、食事は1日3食分のお弁当が用意されていたため「あんなに重い思いをしなくても良かったのか」と落胆したことを見ても覚えています。

滞在中のホテルでの生活は、朝夕2回の体温測定（その後ラインで報告）、11時に台湾検疫局へ体調報告、そして7時、12時、18時にお弁当が支給されました。ホテル側の工夫（和洋中提供）により、お弁当は美味しく頂くことができました。そのせいもあって私は2kg、同行者は3kg体重が増えました。私は今でも体重が戻りません。私が隔離期間中に率先して行ったことは、部屋でのウォーキングです。初日から数日間は好き勝手に過ごしていましたが、部屋から一歩も出られないことも影響し、体を全く動かしていないとハッとしたとき、急遽取り入れました。狭い部屋の中を行ったり来たり、時折、椅子を登ったり降りたりすることも。この14日間を食べて寝てだけの生活は自分をダメにしてしまうと焦燥に駆られ、必死に取り組みました。もしも何もしないまま過ごしていたらさらに体重が増えていたかもしれません。

次に、今回の出張で持参して良かった物としては、洗濯用ロープとハンガー（2日に1度の頻度で手洗い洗濯）、nasneがインストールされた

スマホです。このnasneがあったおかげで、日本のどのTVチャンネルもリアルタイムで見ることができ、普段からあまりTVを見ない私ですが日本に居るような安心感を得ることができました。ちなみにラジオアプリのradikoについては繋がりませんでした。逆に持って行けば良かった物としては爪切りと春夏用スーツです。爪は普段の生活で気になった時に切っていたので2週間で爪がかなり伸びることを理解していませんでした。出発前日に深爪くらいに切り込んでいきましたがダメでした。その結果、査察の際の更衣時に爪チェックでパスできず、その場で爪を切るという恥ずかしい思いをしました(査察官2名とも)。スーツについては、台湾は暑いと聞いていたものの、日本の5月上旬は20℃前後の気温で、また朝晩は寒いくらいでしたので秋冬用を選択しましたが、それが失敗でした。隔離中のホテルはずっとクーラーが稼働していたので良かったのですが、査察初日の移動から汗でベタつき、施設立ち入り前から不快な思いをしました。当たり前ですが台湾は連日30℃超えなので、まわりの人々は皆半袖シャツです。

このコロナ禍で空港勤務をしていると、航空機が到着しているのに2時間程は旅客が税関検査場まで来ないと感じることが多いと思いますが、その過程を体験してきました。降機後、同じ航空機に乗ってきた旅客は一同に集められ、そこで今後の流れについての説明を聞き、次にPCR検査用の唾液を採取します。採取ブースにはレモンや梅干しなど酸っぱいものを連想するような写真が飾られていたが、私の場合は加齢のせいか、なかなか採取できませんでした。次に(日本での隔離期間中に連絡がとれるよう)3つのスマホアプリのインストールと設定を行うために、あちこちのブースに行くよう指示されます。そのおかげもあって椅子にじっと座っていた時間は30分くらいだったので、特にイライラするようなことは無かったです。

自宅に着いてからは、1日2回アプリで自分の所在地を送付し、メールで体調を報告。そしておおよそ3日に1度、自宅内に待機していることを確認するためのテレビ電話がかかってき

ます。そこでスマホ画面をずらすよう指示され、何度か寝室を見られてしまいました。日本での隔離はやはり外出はできませんが、台湾の時とは違って自宅が隔離場所ということもあって、ずっと一室に留まらなければならぬという訳ではありません。ただ、査察時にちょうど台湾で新型コロナが拡がりはじめたというニュースが日本でも取り上げられたことから、今まで良好な関係であった娘から敬遠され「部屋から出でこないで!」と悲しい洗礼を受けました。結局、自宅でも14日間は寝室からほとんど出ることなく、黙々と報告書の作成に費やしました。今夏は関係改善のために娘と旅行に行こうかと思案中です。

最後にコロナ禍の査察は、貴重な体験ができますので、機会があれば行くことをお薦めいたします。

・お詫びと訂正のお知らせ

動検時報 Vol.54-3 2021.06号の下記につきまして、内容に一部誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

・P.6「オリンピック・パラリンピック馬術競技参加馬の検疫」本文4行目

【誤】平成30年夏に競技馬を

【正】令和元年夏に競技馬を

・令和3年度初任者紹介～私は・・・な
防疫官になりたい

(令和3年度初任者)

【総務部庶務課】

塚本 僕

私は信頼される
事務官になりたい。

【総務部会計課】

山本 将大

私は正確・迅速な
事務官になりたい。

【企画管理部企画調整課】

田口 謙

私は自分の専門性を遺憾なく発揮できる
防疫官になりたい。

【企画管理部企画調整課】

永田 彩華

私は誠実で挑戦し続ける
防疫官になりたい。

【検疫部動物検疫課】

伊木 理音

私は生産者が安心して畜産業を営むことの
できる環境を提供する防疫官になりたい。

【検疫部動物検疫課】

川瀬 那菜

私は冷静な判断ができる
防疫官になりたい。

【検疫部動物検疫課】

横山 智也

私は変化に敏感な
防疫官になりたい。

【検疫部畜産物検疫課】

太田 麻未

私は日本の食を守る
防疫官になりたい。

【精密検査部病理・理化学検査課】

八木 彩予

私は日本の家畜を守る
防疫官になりたい。

【精密検査部危険度分析課】

大菅 春菜

私は人や動物に優しく、仕事に厳しい
防疫官になりたい。

【川崎出張所】

柴崎 花音

私は誠実な
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）消費・安全局動物衛生課】

栗原 南

私は物事を冷静かつ的確に対処できる
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）消費・安全局動物衛生課】

佐々木 結香

私は広い視野を持つ
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）消費・安全局動物衛生課】

西村 和津

私は柔軟な対応のとれる
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）消費・安全局動物衛生課】

藤本 郁海

私は頼りになり笑顔溢れる
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）消費・安全局動物衛生課】

牧野 遙

私は常に冷静に対応できる
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）生産局畜産企画課】

平田 千夏

私は人と動物の命を思いやる
防疫官になりたい。

【動物検疫課（併任）生産局畜産企画課】

越智 桃子

私は広い視野を持った
防疫官になりたい。

【成田支所旅具検疫第1課】

荒木 謙士朗

私は臨機応変に対応出来る
防疫官になりたい。

【成田支所動物検疫第1課】

正路 優

私は元気な
技官になりたい。

【成田支所旅具検疫第1課】

鈴木 梢那

私は食の安全を守ることに貢献できる
防疫官になりたい。

【成田支所旅具検疫第1課】

武田 侑里香

私はトラブルを未然に防げる
防疫官になりたい。

【成田支所旅具検疫第1課】

中越 愛乃

私は柔軟に対応ができる
防疫官になりたい。

【成田支所旅具検疫第1課】

前村 颯子

私は責任感を持って勤務し日本の畜産を
守れるような防疫官になりたい。

【成田支所旅具検疫第2課】

菅谷 花菜

私は人、物事、自分に対して誠実な
防疫官になりたい。

【羽田空港支所検疫第1課】

岡村 優実

私はオールマイティーな
防疫官になりたい。

【羽田空港支所検疫第1課】

沼田 歩美

私は広い視野を持ち、冷静な判断ができる
防疫官になりたい。

【羽田空港支所検疫第1課】

三浦 明子

私は丁寧な対応ができる
防疫官になりたい。

【中部空港支所検疫課】

岡部 亜果音

私は柔軟性があり信頼される
防疫官になりたい。

【中部空港支所検疫課】

川辺 きなり

私は広い視野を持って自ら動き、
国民に信頼され得る防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】

櫻沢 優実

私は素直・誠実・前向きな
防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】

塩野 理紗

私は信頼してもらえる
防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】**杉浦 大心**

私は決して諦めない
防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】**高橋 輝**

私は畜産振興に貢献できる
防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】**藤原 早織**

私は自分の仕事に誇りを持ち正確に業務を
こなす防疫官になりたい。

【関西空港支所検疫第1課】**増村 杏**

私は学ぶ姿勢を忘れない
防疫官になりたい。

【神戸支所検疫課】**澤田 真代**

私は信頼されるような
防疫官になりたい。

【神戸支所検疫課】**三口 あゆみ**

私は日々学び続ける
防疫官になりたい。

◎令和3年6月～7月の出来事

- 宮崎県の鳥インフルエンザ清浄化に伴い、香港向けの家きん由来製品の輸出を一部再開しました（6月1日）
- リトアニアのタウラゲ州及びマリヤンポレ州から日本向けに輸出される家きん肉等の輸入が一時輸入停止されました（6月2日）
- リトアニアのカウナス州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（6月10日）
- 英国から日本向けに輸出される家きん肉等の家畜衛生条件が締結されました（6月14日）
- 米国ミズーリ州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（6月15日）
- フランスのヴァンデ県及びドゥー・セーブル県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（6月16日）
- フィンランドからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（6月25日）
- 栃木県及び千葉県の鳥インフルエンザ清浄化に伴い、ベトナム、シンガポール及びマカオ向けの家きん由来製品の輸出を一部再開しました（6月30日）
- フランスのコルス・デュ・シュド県、オート・ガロンヌ県及びタルヌ・エ・ガロンヌ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（7月9日）
- フランスのロワレ県、ヨンヌ県及びニエーブル県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入が一時停止されました（7月9日）
- 栃木県及び千葉県の鳥インフルエンザ清浄化に伴い、香港向けの家きん由来製品の輸出を一部再開しました（7月9日）
- 家畜伝染病予防法施行規則第46条第1項第3号の農林水産大臣が指定する施設の指定について更新しました（7月12日）
- 米国カリフォルニア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました（7月15日）

◎人事異動（令和3年4月2日～8月1日）

（総務部庶務課）

※出張所長・課長以上の異動、動検外との異動、新規採用、退職に係る異動を掲載

（令和3年4月16日）

石塚 敏子 退職（神戸支所大阪出張所）

（令和3年4月29日）

長倉 基裕 任期満了（成田支所旅具検疫第2課（臨時の任用））

（令和3年4月30日）

杉谷 安黎 企画管理部企画調整課（消費・安全局動物衛生課）
秋山 麻衣 消費・安全局動物衛生課国際衛生企画班企画係長（羽田空港支所東京出張所）

（令和3年5月1日）

千賀あかね 北海道・東北支所検疫課（北海道農政事務所生産經營産業部生産支援課）
新堀 均 成田支所統括検疫管理官（沖縄支所調整指導官）
村上真理子 羽田空港支所統括検疫管理官（内閣府食品安全委員会事務局総務課国際調整専門官兼内閣府食品安全委員会事務局総務課国際係長）
江崎由妃子 関西空港支所検疫第3課長（中部空港支所検疫課主任検疫官）
藤澤 景子 沖縄支所調整指導官（沖縄支所付）
西留ちはる 消費・安全局食品安全政策課レギュラトリーサイエンス対応推進班調査係長（羽田空港支所東京出張所）

（令和3年6月1日）

長倉 基裕 臨時の任用（成田支所旅具検疫第2課）

（令和3年6月24日）

大山口彰朗 消費・安全局動物衛生課付兼内閣事務官（内閣官房副長官補付）命内閣官房新型インフルエンザ等対策室室員 命 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室室員 命 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部事務局局員（成田支所旅具検疫第1課）

（令和3年7月1日）

村上真理子 羽田空港支所付（羽田空港支所統括検疫管理官）
古野美奈子 内閣府食品安全委員会事務局評価第二課評価専門官兼内閣府食品安全委員会事務局評価第二課飼料・肥料等係長（精密検査部危険度分析課）

（令和3年7月7日）

亀山 紋 任期満了（成田支所旅具検疫第2課（任期付採用））

（令和3年7月8日）

福富 愛 羽田空港支所東京出張所主任検疫官兼羽田空港支所検疫第1課付（内閣事務官（内閣官房副長官補付）命 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室室員 命 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部事務局局員）

（令和3年8月1日）

福田もと美 内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課交流係長（検疫部畜産物検疫課）
太田 晶子 羽田空港支所東京出張所（内閣府食品安全委員会事務局情報・勧告広報課交流係長）
佐々木千香 任期付採用（羽田空港支所検疫第1課）

◎畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和3年5月、6月）

●輸入畜産物（前年同月比）

5月分の全体の輸入量は前年同月比 95.0%と減少しました。また、6月分の全体の輸入量は前年同月比 97.2%とこちらも減少しました。

●輸出畜産物（前年同月比）

5月分の全体の輸出量は前年同月比 98.6%と減少しました。また、6月分の全体の輸出量は前年同月比 104.6%と増加しました。

(単位: KG、アンプル、個)

品目名	輸入		輸出			
	5月	6月	5月	6月		
骨類	骨	631,784	1,081,666	—	6,751	
	碎骨	906,414	1,107,926	—	—	
	蹄角	15,002	17,479	—	—	
	骨腱	24,909	37,447	—	—	
	蹄角粉	—	64,000	—	—	
	その他の骨	—	—	—	—	
	計	1,578,110	2,308,516	0	6,751	
肉類	牛肉	冷蔵	26,829,600	28,128,567	251,377	269,273
		冷凍	29,829,269	31,550,128	306,094	316,981
		その他	9,637	16,889	—	1
		加熱処理	135,165	127,648	—	—
	豚肉	冷蔵	35,109,872	35,352,792	2,682	2,948
		冷凍	50,562,966	56,634,900	136,455	258,179
		その他	25,909	14,270	—	—
		加熱処理	688,809	827,801	—	—
	めん羊肉	2,204,466	1,602,326	—	—	
	山羊肉	17,460	48,109	—	—	
	鹿肉	1,351	29	6	48	
	その他の偶蹄類肉	—	—	—	—	
	加熱処理その他の偶蹄類肉	—	—	—	—	
	ハム	171,182	259,314	—	—	
	加熱処理ハム	26,634	4,564	—	—	
	ソーセージ	1,292,000	1,271,061	136	288	
	加熱処理ソーセージ	638,510	633,325	—	—	
	ペーコン	231,888	123,253	—	—	
	加熱処理ペーコン	7	129	—	—	
	馬肉	347,983	301,601	—	—	
	うさぎ肉	12,285	4,286	—	—	
	犬肉	—	—	—	—	
	家きん肉	45,657,429	45,241,757	356,973	568,451	
	家きん加熱処理肉	33,100,403	36,541,278	—	—	
非加熱 その他の肉	牛	450,093	402,260	38	43	
	豚	21,955	119,614	13	74	
	家きん	246,300	166,244	15,431	14,056	
	その他	148,108	44,818	13,894	20,646	
加熱処理 その他の肉	牛	238,664	206,494	—	—	
	豚	2,035,239	2,352,145	—	—	
	家きん	2,829,441	2,870,190	—	—	
	その他	245,165	401,015	—	—	
	計	233,107,790	245,246,807	1,083,099	1,450,987	
臓器類	牛臓器	170,737	243,382	37	7	
	豚臓器	27,016	82,618	2,500	3,250	
	その他の偶蹄類臓器	1,614	13,581	—	—	
	加熱処理牛の臓器	—	—	—	—	
	加熱処理豚の臓器	—	—	—	—	
	加熱処理その他の偶蹄類臓器	—	—	—	—	
	偶蹄類以外の臓器	35,367	31,891	2,100	7,527	

品目名	輸入		輸出		
	5月	6月	5月	6月	
臓器類	消化管等	3,077,374	2,370,124	13,803	20,863
	加熱処理消化管等	—	—	—	—
	ケーシング	366,733	464,933	—	—
	脂肪	2,676,974	2,249,406	3,975	42,010
	非加熱その他の臓器	—	—	—	12
	加熱処理その他の臓器	—	—	—	—
	加熱処理家きん臓器	157,774	172,486	—	—
	加熱処理その他の家きん臓器	3,328	2,280	—	—
卵類	計	6,516,917	5,630,701	22,414	73,669
	殻付卵	70	39,724	1,888,454	1,979,311
	液卵	544,837	973,849	1,104	4,092
	その他の卵	14	—	10,576	11,984
皮類	計	544,920	1,013,573	1,900,134	1,995,388
	牛皮	2,221,694	3,154,539	1,350,742	1,589,606
	豚皮	91,471	107,761	4,473,285	5,704,167
	めん羊皮	—	13,958	—	—
	山羊皮	—	—	—	—
	鹿皮	7,145	—	—	—
	その他の偶蹄類の皮	—	—	—	—
	馬皮	47,712	100,983	—	—
	うさぎ皮	26,850	19,500	—	—
	犬皮	—	—	—	—
毛類	その他の皮	—	—	—	—
	計	2,394,871	3,396,741	5,824,027	7,293,773
	牛毛	—	—	—	—
	豚毛	2,200	2,504	—	—
	羊毛	—	93	—	—
	山羊毛	11,097	21,527	25	—
	鹿毛	—	—	—	—
	その他の偶蹄類の毛	3,833	2,886	—	—
	馬毛	3,579	9,328	—	—
	うさぎ毛	500	—	—	—
乳製品類	羽毛	113,004	255,184	30,509	71,507
	犬毛	—	—	—	—
	その他の毛	12,511	—	3,391	2,935
	計	146,723	291,522	33,925	74,442
	チーズ	22,787,888	21,938,406	522	11,369
ミール類	バター	813,552	687,583	18	—
	偶蹄類動物の飼料用乳製品	3,125,148	3,917,096	—	—
	その他の乳製品	4,653,219	4,974,998	92,120	112,329
	計	31,379,807	31,518,083	92,661	123,698
	血粉	69,927	99,266	—	—
その他	肉粉	52,288	21,367	—	—
	肉骨粉	—	—	—	—
	皮粉・羽毛粉	—	—	—	—
	計	122,215	120,633	0	0
わら類	精液（アンプル）	91,289	109,409	—	—
	受精卵（個）	272	536	—	—
	ふん・尿	—	—	—	—
	計	91,561	109,945	0	0
わら類	穀物のわら	16,165,520	17,957,120	—	—
	飼料用の乾草	—	—	—	—
	その他	187,530	281,330	—	—
	計	16,353,050	18,238,450	0	0
総計		292,144,403	307,765,026	8,956,259	11,018,708

※ 解放重量ベースの速報値

(単位:頭、羽、個、群)

動物名		輸入		輸出	
		5月	6月	5月	6月
牛	乳用繁殖用	—	680	—	—
	肉用繁殖用	—	—	—	—
	肥育用	1,259	1,165	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
豚	繁殖用	—	87	—	—
	その他	—	—	—	—
めん羊		—	—	—	—
山羊		—	—	—	—
その他の偶蹄類		—	—	—	—
馬	繁殖用	—	—	1	—
	乗用	17	7	—	1
	競走用	21	2	1	—
	肥育用	85	196	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
その他の馬科		—	—	—	—
うさぎ		219	93	11	8
初生ひな (鶏)		5,995	50,876	—	—
初生ひな (その他)		1,569	—	—	—
種卵 (個)		—	—	—	—
蜜蜂 (群)		—	—	—	—
指定検疫物以外の動物				9,521	10,559
犬		315	363	344	602
猫		165	165	167	224
あらいぐま		—	—	—	—
きつね		—	—	—	—
スカンク		—	—	—	—
サル		476	720		



左の写真は、表紙にも登場した東京国際空港国際線ビジネスジェット専用ゲートに設置された靴底消毒マットです。動物検疫所では、家畜の伝染病の侵入を防止するため、海外からの旅客便が到着する全ての空海港で、靴底消毒用のマットを設置しています。あのオリンピック選手もこの靴底消毒マットの上を通ったのでしょうか。

◎動検通信（総務部会計課長）

会計課は、ご存じのとおり、お金の管理に関する事務を行っている部署ですが、誌面の許す範囲で国の会計事務について少し触れたいと思います。

国は国民のために各種公的サービスを提供する役目があります。そのために税金等を集めて管理し、必要なお金を支払っていく活動が財政となります。税収で得られた資金をもとに必要な施策を執行する上では、収入（税収等）と支出（予算の執行）の管理が重要となります。

国の収入・支出は、4月から翌年3月までの期間（会計年度）で計算し、この1年間の収入が「歳入」、支出が「歳出」となります。動物検疫所の主な歳入は、返納金や国有財産貸付料等（R2年度決算額3,572千円）であり、歳出は、物品・役務等の請負契約に係る支払いや職員の給与・旅費の支払い等（R2年度決算額5,613,959千円）になります。

国の会計制度は、行政目的を適正な処理手続きによって達成するために設けられたものであり、利益追求を目的とする企業会計とは異なった方式が採られています。その処理にあたっては、単に正確性のみならず、合規性、経済性、効率性及び有効性が求められており、複雑なシステムとなっています。

会計課及び各支所庶務課で働く会計担当者は、会計法令に基づいて予算の執行手続き（契約、支払、物品や国有財産の管理等）を行いますが、法律、政令、省令のほか、実に300余りもの運用通知等、多数のルールに基づいて行う必要があります。

会計担当者に手続きを依頼すると、何やら細かなことをいろいろ言われると感じられることが多いですが、国民から徴収した税金を扱うことから厳格な説明責任を求められるが故です。今後とも適正な会計事務処理のために皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

最新のトピックスは
こちらへ→

動物検疫所のホームページ <https://www.maff.go.jp/aqs/>
農林水産省のホームページ <https://www.maff.go.jp/>
OIEのホームページ http://www.oie.int/eng/en_index.htm

動検時報はこちらにも掲載しています。
<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/pamphlet.html#jiho>



編集・発行 農林水産省

動物検疫所

横浜市磯子区原町11-1
(045)-751-5921(代表)